

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	コロナ禍に対応した抗ストレス茶の開発と学生に美味しいお茶を!!プロジェクトの推進				
研究組織	代表者	所属・職名	食品栄養環境科学研究所 茶学総合研究センター・特任教授	氏名	中村 順行
	研究分担者	所属・職名	静岡県茶業研究センター研究員	氏名	鈴木 康孝
		所属・職名	県茶業会議所 専務理事	氏名	伊藤 智尚
		所属・職名	県茶業振興課 課長	氏名	小林 栄人
		所属・職名	JA 経済連 茶業部長	氏名	真田 泰伸
		所属・職名	食品栄養環境科学部 助教	氏名	斉藤 貴江子
	発表者	所属・職名	食品栄養環境科学研究所 茶学総合研究センター・特任教授	氏名	中村 順行

講演題目	お茶で学生生活を活性化!!!!
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>コロナ禍により社会は大きく変化し、学内においてもオンライン授業が主となり、孤独感の強まりやコミュニケーション・コラボレーション不足により不安感やストレスを感じる人が急増している。そのようななか、お茶はホッと一息つける嗜好飲料でもあり、巣ごもり生活のなかに定着した一面も持つ。お茶を飲むだけからお茶の楽しみ方、飲み方、健康効果など幅広く情報発信するなかで、コロナ禍のストレスを解消するとともに、静岡茶を介して県立大学へのアイデンティティを高め、実りある学生生活につなげることを目的に、「学生に美味しい静岡茶を」プロジェクトをとおり、日常茶飯事にお茶を愉しむことで、少しでも充実した学生生活が送れることを期待し、「①お茶の機能性情報の発信、②美味しいお茶を楽しむ方」の発信を行った。</p> <p>お茶の機能性情報の発信では、コロナ禍のため受講生を半減させた茶学入門、大学コンソーシアムの「ふじのくに学（茶学）」、さらには静岡市が主催するお茶の学校などでお茶の健康効果、お茶の持つ機能性成分の概要などを発信するとともに、お茶とコロナ情報についても各種セミナーやシンポジウムで情報提供してきた。</p> <p>さらに、美味しいお茶の楽しみ方においては、本大学において多彩なお茶を飲む機会や学ぶ機会を提供することで、茶の持つ幅広く、奥深い魅力や静岡の風土の素晴らしさについての理解を深め、お茶の愛飲者になってもらうために、下上の両食堂にティバッグ数種類を準備し食事時に自由にお茶を愉しんでいただいた。しかしながら、夏には下食堂が閉鎖され、上食堂だけとなったが月1回はFree Tea Caféの日を決め、月替わりにその季節に合ったお茶を提供し続けた。また、上食にはティーサーバー用の粉末茶も提供し、自由にお茶を楽しんでいただけるようにした。さらに、お茶と同時に、季節を感じながらお茶の幅広さを楽しんでいただくよう「茶と暦」（4ページ）パンフレットを「みなくる」で月1回刊行・配布した。</p> <p>Covid-19が少し落ち着いた12月には「お茶とお菓子のマリアージュ」と題し、食品栄養環境科学部栄養生命科学科の学生とともに世界の銘茶と学生の出身県の銘菓を持ち寄りお茶とお菓子の深い関係を学ぶとともに、両者の相性を楽しんだ。また、同様な企画を藤枝ジュニアお茶大使・博士に対し藤枝茶の歴史と藤枝の銘菓で行い、お茶への興味を深めた。</p> <p>現在、コロナ禍のためなかなか幅広い呈茶が行えないが、地道に活動するとともに、アフターコロナではもう少し規模を拡大し、学生が主体となれるFree Tea Caféなども再開したり、新しく開設された国際学生寮でのお茶を通じた留学生との交流促進などを行いたいと考えている。</p>